

ひまわり館

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	0	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成19年度に、今までの理念をもとに、地域との関わりを入れた理念作りをスタッフ全員で意見を出し合いながら考えた。その理念を目指したグループホーム作りに取り組んでいる。	0	
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ全員で考えた理念を、朝の申し送りの際にスタッフ、入居者と理念復唱を行い共有している。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議にて理念の説明を行い、地域と関わっていく必要性を話し、家族、地域の方から理解して頂けるように思う。又、グループホーム入り口に理念を掲示しており、いつでも見て頂けるようにしている。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	顔を覚えてもらえるよう、挨拶の徹底をしている。又、今年は中止となってしまったが、施設の夏祭りに来て頂いたり、地域の保育園の子供たちに来てもらい、エイサーを披露してもらったりしている。	0	
	5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月行われている地域の掃除に参加したり、地域の夏祭りに行かせて頂いている。少しずつ顔馴染みとなってきており、入居者と散歩の際等に、声をかけてもらえるようになってきている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3	7	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価に関しては、スタッフに外部評価の意義を説明し理解してもらい、スタッフの意見を聞き取り入れている。外部評価に関しては、結果をカンファレンスにて報告し、良かった点・悪かった点を理解し、より良いグループホームとなるよう話し合いをしている。	0	
		8	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎日の活動や行事の報告、入居者の状況報告を運営推進会議で行っている。そこで出た意見は前向きに受け止めスタッフ間で話し合い、改善、質の向上に努めている。	0	
		9	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	家族や入居者の対応等で困った事があれば、市役所に出向いて担当者に相談を行なっている。内部の状況等も話しグループホームを理解してもらえる様に努めている。施設の行事等にも声掛けを行い来て頂いている。	0	
		10	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	運営推進会議やカンファレンス等で勉強会を行なっている。入居者の家族から成年後見制度を利用したいと申し出がある時は、担当医と共に活用できるように援助している。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時等に入居者の身体に打ち身や傷等がないか確認し、身体チェック表に記入するようにしており、全スタッフで入居者の把握が出来る様にしている。又、虐待についての研修に行き、カンファレンスで報告、話し合いの機会を作っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営		12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	自宅へ訪問し、家族や入居者に安心してもらえる様に話を聞いて、説明を行っている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の表情や様子を見て、不満・苦情等があると思われる方に対しては、個人的に話を聞いたり、場合によっては支配人が対応している。入居者からの不満・苦情は皆で話し合い、改善に努めている。	0	
	4	14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に近況報告を行っており、希望される家族には、毎月個人介護記録のコピーを郵送している。又、特変あれば家族に連絡し報告をしている。金銭管理については個人の物品等を購入した時は、毎月の利用料の請求と一緒に領収書(レシート)を送って明細を明確にしている。職員の異動については面会時に報告を行っている。	0	
	外部評価8	15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	グループホーム入り口に「相談・苦情申出および保有個人データに関する窓口の設置」の掲示および申請用紙等を設置しており、いつでも不満や苦情を受付できる体制を整えている。又面会時にも家族から直接、意見・不満等を聞いて対応している。	0	
	外部評価9	16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや朝の申し送り等で、運営に関する事も伝えており、スタッフの意見を聞いている。その中から重要と思われることは支配人・専務へ報告し、改善に繋げている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	支配人や専務と話し合い、日中の人数の確保は出来ており、緊急時にも対応できるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 る 理 念 め の 実 体 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	家族よりスタッフの異動はしないしてほしいと言われてる事を支配人・専務に伝え、施設内異動は必要最小限に留める様にしている。ユニット間の異動についてもスタッフの能力に応じて適したスタッフの異動だけにしている。離職に関してはスタッフ面談を行い改善できる点は改善に努め、離職を必要最小限に抑えるようにしている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	性別や年齢問わず、募集や採用にあたっては。又、職員の特技や能力を活かせるよう、係りや役割の分担をしている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	認知症であったとしても人権を尊重し、対応の仕方や言葉使い等、教育を行っている。言葉使いに関しては、敬語・丁寧語を徹底している。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護年数や個々の能力によって実践者研修や管理者研修を受けてもらっている。実力のあるスタッフには役職をつけて、ステップアップ出来るようにしている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会に入っており、同じブロックのGHとの交流を図っている。GH協議会にて、意見交換等が出来る。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフの得意・不得意に考慮した係りや役割決め。又、スタッフ面談を行い意見や不満を聞き、改善に努めている。又、衛生委員会にて各部署の問題点、スタッフの健康管理等についてを話し合い、カンファレンスにて報告を行い、ストレスの軽減に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員一人一人の、頑張りや勤務状況をしっかり把握するように心がけている。やる気や向上心を持ってもらえるよう、運営者や管理者、家族等からのお礼の言葉をスタッフに伝えるようにしている。又、スタッフが落ち込んだりしている時は、話を聞いたりフォローをいれるよう心がけている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居申し込みに来た際に、家族やその方のおかれている環境等を聞き、自宅訪問時に話を傾聴し、ご本人の不安や望んでいる事を少しでも理解出来る様に努めている。不安を安らげ、入居が出来る様に心掛けている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学や入居申し込みに来た際に、家族の状況等を聞き取っている。また自宅訪問の時に、これまでの生活やこれからの事等を話し合い、家族の不安が軽減出来る様に努めている。入居後も面会時に気軽に相談が聴ける様に心掛けている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来る限り家族や本人が必要としている支援やサービスが受けられる様に、必要な時は市役所等に相談しながら、対応が出来る様に取組んでいる。	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人や家族が、グループホーム入居に不安や迷いがある場合は、市役所に確認してから体験入所を勧めている。グループホームがご本人の生活に合っているか、家族とも話し合い、入居を決めている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価6項目・外部評価1項目	0	
係り2 続これ へなま の支た 援のま 関係 づく 開く	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者との関わりを多く持ち一緒に過ごす事で喜怒哀楽の共有は出来ている。又、会話の中から学ぶ事も多く話を傾聴している。又、調理の際や盛り付けの際一緒に言いアドバイスを頂いたり、手芸等でも入居者から教えて頂いたりしている。支えあいの関係が出来ているように思う。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	介護スタッフだけでなく、家族の力も借りながら本人を支援している。又、面会時に家族とのコミュニケーションを図り、何でも話し合える関係となるよう努めている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	より良い関係が築けるよう、時にはスタッフが間に入り会話が広がるよう努めている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なかなか馴染みの場所に出向くことは出来てないが、会話の中で馴染みのある場所の話をするようにしている。又、昔からの友人等には来て頂いている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者が孤立せず利用者同士の関わりが多く持てるよう、みんなでのレクリエーションを考えたり、スタッフが間に入り会話が広がるようにしている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後も困った事や何か特変等あれば、いつでも連絡・報告をして頂いており、こちらからも連絡をとるようにしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	0	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1	35 外部評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや意向を本人や家族、友人等から聞き、本人の思いを大切にしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴の聞き取りをしているが、入居後も本人や家族、友人等からこれまでの暮らしについて聞いている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個人介護記録に一日の過ごし方を詳しく記入し、特に大事な事は申し送り帳にも記入しており、現場に入る前に必ず目を通すよう徹底している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスでスタッフ全員で話し合いを行い、その意見をまとめて介護計画を作成している。又、家族面会時に意見や要望を聞き取り入れている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化や問題が生じた時は、必ずカンファレンスで話し合い新たな計画を作成している。その時は家族にも状態を報告し、相談をした上で作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録へ記入の際、ケアプランに挙がっているケアを行ったら赤ペンで記入しており、誰が見てもすぐにわかるようにしている。又、特変や気付いたことは、申し送り帳にも記入するようになっておりスタッフ間で情報の共有が出来ている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	有料老人ホーム・デイサービスが併設している為、施設全体の行事の際に多目的ホールを利用している。他に、運営推進会議時はレストランを利用したり、和風ティールームへコーヒーを飲みに行ったりしている。又、家族面会時には、1Fと6Fにあるロビーを自由に使って頂いている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	施設行事がある時はボランティアや老人会の方に来て頂いてマジックや舞蹈等を披露して頂いている。他に、施設での年に2回の消防訓練時には、消防署と連携を行っている。又、市の文化祭に参加し作品の展覧をする等、地域資源との協働に心がけている。	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人や家族の希望や必要性に応じて、在宅マッサージを利用している。3ヶ月に1度、在宅マッサージの方から主治医の方へ施術経過報告書を送られている。他に、移動美容室が毎月来ており、これも本人や家族の希望にて利用している。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ケアマネージャーが研修に参加した際に地域包括センターとの情報や意見の交換をしている。又、入居者募集の際に何度かお願いに伺った。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については、本人・家族の希望にて、今までのかかりつけ病院か、施設のホームドクターかを選んで頂いている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力機関医が認知症に詳しい為、スタッフがいつでも聞いたり相談できるようになっている。	0	
	47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホーム専属の看護師があり、入居者の健康管理や薬の管理、何かあった時の主治医への連絡や処置、病院受診等を主にしてもらっている。又、24時間体制をとっており看護師不在の時でも何かあった時は常に連絡をとれるようにしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中は看護師・スタッフで定期的に面会へ行き、主治医や担当看護師から状態を聞いており、早期退院に向けて病院側・家族の意見も聞きながら話を進めている。	0	
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に関しては、早い段階から本人や家族、主治医や看護師と話し合いを繰り返し行っており、話し合った内容はカンファレンス時にスタッフに報告している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	グループホームでは医療行為は出来ないこと、出来る限りの介護は行うことを家族へ伝えている。スタッフ・主治医とグループホームでどこまで出来るかを話し合い、グループホームで難しい場合、又家族の希望があった場合は、受け入れ先の病院等をこちらで探している。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	今まで該当された方に対し、ご家族の意向や本人の状態を考慮し、受け入れ施設・病院と情報交換を行なって来た。今後も今まで同様、ご家族とも話し合い、本人にとって最善の方向を勧める様にしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	2	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	2	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
		52	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩として尊敬すること、相手の立場に立って対応することを、朝の申し送りやカンファレンスにて伝えてきており、言葉使いに関しては敬語・丁寧語を徹底している。記録等の個人情報に関しては、外部への持ち出しを禁止しており、間違えて破棄する場合はシュレッダーにかけている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定出来る入居者は本人の意見を尊重し、自己決定が難しい入居者には、本人の対場に立って思いや希望を察知している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな1日の流れは決まっており、レクリエーション等になるべく参加してもらえるよう声かけは行うが、無理には誘わず本人のペースを優先にしている。又、本人の希望を傾聴し、その方らしい生活が送れるよう支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の希望がある場合はスタッフや家族の付き添いの元、望む店まで行っている。又、月に1度移動美容室が来ており希望に添って利用して頂いたり、日曜日や誕生日、行事の際には化粧品やマニキュアをしている。又、日々の身だしなみにも十分に気をつけている。	0	
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の得意・不得意を見極め、おにぎりやコロケ等の成形や盛り付け等をスタッフと一緒にしている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物やおやつ等は入居者の好みに合わせて選んでもらうこともある。喫煙される方に関しては、本人が訴えた際自由に吸って頂いている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の失敗やおむつの使用を減らす為に入居者の排泄パターンを把握し、トイレ誘導の時間を決めている。又、なるべく下着で対応するようにしている。	0	
59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日中であれば希望に応じて入浴して頂いている。入浴の拒否があれば時間を置いてお誘いしたり、日を改めてお誘いしたりと気持ちよく入浴が出来るように支援している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動を充実させ、レクリエーション等に参加して頂くことによって生活のリズムを作り、夜は気持ちよく眠れるようにしている。なかなか眠れない方に関しては、リビングにてテレビを観て頂いたりスタッフと談話され、安心して眠れるようにしている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を把握しており、その方にあった習慣や役割を持って頂いている。又、張り合いが出るよう、様々なレクリエーションや行事を考え毎日楽しく過ごして頂けるよう工夫している。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者によっては自分でお金の管理をしている方もおり、買い物時は自由に使って頂いている。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	帰宅願望等で外出欲求があった場合は、出来る限り付き添うようにしている。その時すぐに出ることが難しい場合は、時間や日を改めて出れるようにしている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ほとんど、どこへ行ってみようという入居者からの希望はない為、スタッフが外出を企画している。季節を感じれるような場所を選んでいく。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人から電話の希望があれば自由にかけて頂いている。手紙に関しても、希望があれば出して頂いている。	1	年賀状や暑中見舞いを家族や大切な人に出してみたいと考えている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	気軽に訪問出来るよう面会の際はスタッフから声をかけるようにしており、ゆっくり心地よく過ごせるように6Fのエントランスを勧めたりしている。	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)	自己評価8項目・外部評価2項目	1	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	リスクケアマネジメント・身体拘束委員会を設けており、その中で勉強会や話し合いを行い、全スタッフに身体拘束についての報告をしている。又、ヒヤリハットや事故があった場合はカンファレンスにて話し合いをしている。	0	
		68 外部 評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	グループホーム入り口の扉、各居室の扉は常に開錠しており、入居者がいつでも出入り出来るようにしている。各スタッフには、鍵をかけないケアについて話をしている。	0	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	随時巡視を施行しており、入居者の安全や行動の把握を行っている。付き添いや見守りを嫌がられる方には、会話しながら等してさりげなく付き添い・見守りを行うようにしている。	0	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物等は家族に持ち帰ってもらうか、スタッフの方で預かるようにしている。	0	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	カンファレンス時に勉強会を行ったりしている。又、ヒヤリハットや事故報告書が出た時は、その事故の内容報告後に事故防止について話し合い、同じ事故を繰り返さないように努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	入居者の急変や事故が起こった場合は、まず管理者に報告し、必要であれば主治医にも報告行い指示を受けるようにしている。応急手当については、勉強会を行っている。	1	アンビュー（手動式人工蘇生器）や吸引機等の器具の使用方法を定期的にスタッフに指導していきたいと思っている。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、施設での防災訓練を行っている。又、グループホーム内に防災委員会があり防災についての話し合いやマニュアル作りを行っている。現在、火災・地震・台風マニュアルの作成が出来ており、来月には防火管理者の資格を取りに行く予定である。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ケアプラン作成時や家族の面会時に、近況を報告し、今後起こり得るリスクについてもお話ししている。なるべく本人に苦痛がなく安全である事を第一に対応策を話し合っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝・夕の1日2回バイタル測定を行っており、異常みられた際は再検をしている。他に、入浴時にポディーチェックをしたり毎日の暮らしの中で気付いたことや特変があれば、個人介護記録・申し送り帳に記入し、スタッフ全員が情報を共有できるようにしている。又、看護師や主治医に報告し対応に繋げている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬リストを寮母室に置いており、いつでも見られるようにしている。又、薬の変更等あった場合は申し送り帳にて全スタッフへ伝えている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬の力をなるべく借りないようにしており、食物繊維の野菜を多く取り入れたり、水分補給をこまめに行ったり、ご飯を炊く際にがりを入れ工夫している。又、体を動かしたり腹部マッサージを行う等している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、自立の方には声かけを行い、本人では難しい場合はスタッフが口腔ケアを行っている。義歯の方は毎回はずして磨いており、夜間はポリドントにつけるようにしている。又、訪問歯科に週2で来てもらっており、口腔ケアや治療をしてもらっている。	0	
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算されている献立を基準に、栄養士の資格をもつスタッフがバランスや彩りを考えながら献立作りをしている。又、バイタルチェック表に食事量・水分量を記入しており、そのチェック表を見ながらコントロールをしている。又、月に2回の体重測定を行っている。	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成しておりカンファレンス等で話し合いを行っている。運営推進会議では、感染症に対する処置の方法を実演を交えて家族に話している。	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具等の使用前に消毒スプレーにて消毒を行い、毎晩キッチンハイターにつけている。夏は生物を出さず、必ず火を通すようにしている。又、衛生管理士がグループホーム内の点検に入るようになり、より衛生面に目が向くようになった。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	グループホームの入り口には、のれんや下駄箱等で家庭的な雰囲気を出せるよう心がけており、又、入り口を入ってすぐに入居者の生活の写真を飾り、親しみやすく出入りが出来るようにしている。	0	
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	スタッフは大きな音を立てないよう気を付けており、掃除機をかける時等は、一声かけてから行うようにしている。又、太陽の日差しが強い時はブラインドをおろして調節している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにテーブルやソファを置いており、自由に好みの場所にて過ごして頂いている。	0		
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使っていた物や写真等は自由に持って来て頂いている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室やリビングに関しては定期的に窓を開け換気するようにしている。トイレに関しては常に換気扇をまわしており、風呂場・脱衣室は入浴後に換気扇をまわしている。又、エアコンや換気扇を定期的に掃除している。温度調節にも常に気を配っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用部分のリビングや廊下、トイレや風呂場等に手すりを設置している。又、家族の希望で居室内に手すりを設置したり畳にしたりしている。又、障害物となる物はなるべく置かないようにしたり隅の方へ置くようにし、安全な環境作りに心がけている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	スタッフは入居者の能力を把握するよう努めており、その方にあった活動や役割をスタッフと共にを行い自立支援の方向に持っていっている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダではネギやニラ、二十日大根等の野菜を育て収穫したり、花を植えたりしている。他に、ベンチに腰掛けお茶を飲んだり、バーベキューをしたりしている。建物の外周りへは、散歩に出かけたりしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	4		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。